

おあつらひの侍のちるさし出しに

掛連りのそと一<sup>日</sup>整平真平の國は取

おき下して水公由あれどもかの連は

後此の命を見たり一人より後の

譲りしれと云ふ海をさるるを不<sup>有</sup>

之に男、何卒一<sup>日</sup>区却とていなる

の社長は其の子に別か又一幅をか

申おろし進出をいたしたし

たむせりる